

2014年度文学部講演会シリーズ企画 つなぐ・つながる文学部

シリーズ1「若者と家族のいまをみつめる」

企画の趣旨：現代日本社会における家族のかたちの多様性は、メディアなどを通じて話題になることが多いが、それにもかからわず、私たちの日常感覚の中では、あるべき家族の姿が固定的な形でイメージされているのではないだろうか。あたりまえと感じる家族イメージが強ければ強いほど、そうではない現実を生きる若者たちの姿は見えにくくなってしまふ。この講演シリーズは、3つのテーマを設定し、講演や映画鑑賞に、当事者を交えた対話型のセッションを組み合わせた形式で行うことにより、当事者と参加者、参加者同士の間につながりを作り出すことをめざす。

	テーマと内容	開催時期(予定)
第1回	あなたも〈ヤング・ケアラー〉？～介護を担う若者たちの声 話題提供：渡辺道代氏(日本ケアラー連盟理事)、澁谷智子氏(成蹊大学講師) 当事者の若者をふくめたテーブルトーク	6月～7月の土曜午後
第2回	「家族の絆」って何？～隣りで寄り添う児童福祉のかたち 映画「隣る人」の上映 岡山市内の児童養護施設関係者によるトークセッション	11月～12月の金曜夕方
第3回	日本人／the Japaneseって誰？～映画'Hafu'を通して考える 映画『Hafu』の上映 ワークショップ：岡山のフィリピンサークルのメンバー(国際結婚女性もしくは子ども)あるいは主演者を招く	12月～1月土曜午後または平日

シリーズ2「ニホンガク最前線」(2013年度からの継続企画)

第5回 6月27日(金)17:00～18:30
「18世紀ヨーロッパの雑誌に見る日本」
Francesco Campagnola(ベルギー・アントワープ大学日本研究グループ研究員)
ソルボンヌ大学博士課程修了。

第6回以降も順次企画中

日時未定

「振袖姿で空を飛ぶ～客室乗務員が創る日本イメージ」(仮)

中野嘉子

アメリカ・シ(香港大学文学部准教授)

専門は異文化間のコミュニケーション、日本のモノ(Made in Japan)のグローバル化。

2014年度文学部公開講座

区分	講座名	募集期間		開講期間		開講日数	開講時間	受講対象者	受講定員	受講料 (詳細に記入)	会場
		開始日	終了日	開始日	終了日						
人文科学	〈貧困社会〉への多様なアプローチ	8月29日	9月19日	9月27日	11月1日	5日間	13:30～16:00	一般(高校生以上)	80人	無料	文化科学系総合研究等2階共同研究室

回	実施日	曜日	タイトル	講師		
				氏名	所属	役職
1回	9月27日	(土)	〈貧困社会〉救済事業としての文殊菩薩像造立	佐々木 守俊	文学部	准教授
2回	10月4日	(土)	アメリカ現代小説に描かれた貧困と希望	中谷 ひとみ	文学部	教授
3回	10月11日	(土)	中世ヨーロッパの〈貧困社会〉とキリスト教修道制	大貫 俊夫	文学部	准教授
4回	10月25日	(土)	在日外国人の生活からみる現代日本の〈貧困社会〉	高谷 幸	文学部	准教授
5回	11月1日	(土)	「貧者を愛する者」:後期ローマ帝国での〈貧困社会〉への関わり	出村 和彦	文学部	教授